



～安心して持続可能な社会の実現に向けて～

長野電鉄長野線で運行する列車（一部）を 水力発電由来の再生可能エネルギーに置換え CO2 排出量ゼロで運行します！

長野電鉄株式会社（本社：長野県長野市、代表取締役社長久保田敏之）は、「長野県 SDGs 推進企業」として SDGs の実現に取り組む一環として、2024年5月1日（水）から、長野電鉄長野線で運行する通勤型車両 2 編成の使用電力を水力発電由来の再生可能エネルギーに置換え、CO2 排出量ゼロで運行します。

地域交通のカーボンニュートラルや持続可能な社会の実現に向け、長野県内の水力発電所で発電した再生可能エネルギー由来の電力「信州 Green でんき」※1 を調達し、長野県における電力の地産地消を目指します。

これにより、CO2 排出量は年間約 449t-CO2 の削減になり、一般家庭の年間 CO2 排出量約 155 世帯分※2 に相当します。

※1 「信州 Green でんき」とは

長野県企業局が運営する県内の水力発電所などでつくられた 100%再生可能エネルギー。水の豊かな信州で育まれた CO2 フリーの電気で、中部電力ミライズ株式会社より購入します。

※2 1年間実施した場合の推計であり、国内の 1 世帯あたりの年間 CO2 排出量を、2.88 t-CO2（令和 2 年度）として算出。



【当社通勤型車両】

【お問い合わせ先】長野電鉄株式会社 鉄道事業部 担当：風間
TEL：026（248）6000（平日 8：50～17：30）